

「ビジネス・イノベーション」SIG
設立趣意書

2012年3月27日

主査 佐藤 義男

- 目的

独創的発想と、それを実現させ、成功させるビジネス・イノベーションのプロセスと重要スキルを研究し、新事業をプロジェクトとして立案し成功させる「ビジネス・プロデューサー」の条件をまとめる。

- 対象

大きなイノベーションである(新顧客創造とビジネス・モデル変革)を取り上げる。

- 実施方法

1. 現状認識(勉強会)

- ービジネス・イノベーションの期待

- ーライフサイクルにおけるイノベーションの位置付け

- ービジネス・プロデューサーとは

- ーICTによる変革(インターネット・サービス、クラウドコンピューティング)

- ー大きなイノベーションと小さなイノベーション

2. 革新的アイデアを得る発想法を探る

- ー4つの習慣とは(クレイトン・クリステンセン)

- ー夢工学式発想法(川勝良昭)

- ーTRIZ

3. ビジネス・イノベーション実現方法の検討

- ーイノベーションを実現する組織とは

- ービジネスモデルとは

- ー戦略策定プロセス

- ー新ビジネスモデル策定方法

4. イノベーションを妨害する組織への対応法

5. ビジネスモデル策定例

6. P2Mの源流への適用(提言)

7. 「ビジネス・イノベーション実践法」報告書作成

- 設立メンバー

- ー佐藤氏(ピーエム・アラインメント、PMAJ副理事長):主査
- ー川勝氏(新潟県立大学)
- ー佐藤氏(アイネス)
- ー前田氏(匠システムアーキテクト)

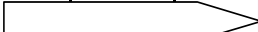
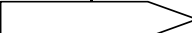
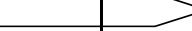
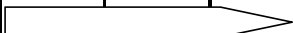
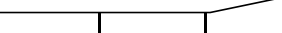
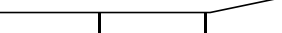
オブザーバー

- ー城川氏(PMAJ副理事長)
- ー中谷氏(ピーエム・アラインメント)

事務局

- ー岩下氏(PMAJ)

● マスタ・スケジュール

期間	2012年						2013年					
	4月			7月			10月			1月		
主な タスク	1. 勉強会実施 			2. 革新的アイデアを得る 			3. ビジネス・イノベーション実現方法の検討 			4. イノベーションを妨害する組織、 		
										5. ビジネスモデル策定例 		
										6. P2Mの源流への適用 		
										7. 報告書作成 		
										▼ PMシンポ(9月) 報告準備		

● 当面スケジュール(仮決め) * 当面は1回／月ペース

4／10(火) キックオフ、「新事業プロジェクトを成功させる方法」プレゼン(川勝氏)

5／ 8(火) 「クラウド時代のビジネスチャンス獲得」プレゼン(前田氏)

添付資料1:

ビジネス・イノベーション実践事例 「新事業プロジェクトを成功させる方法」

- 第1回PMAJ東日本大震災チャリティ・セミナー(PMAJ主催)にて講演
- 内容
 - － 危機に直面した日本
 - － 事業プロジェクトの成否研究
 - － 夢工学
 - － 悪夢工学
 - － 夢工学式発想法
 - － 夢工学式経営戦略論
 - － 夢工学式ベンチャー起業論
 - － 夢工学活用プロジェクト
 - － 現在推進中の大型事業プロジェクト

添付資料2:

参考文献

- 「夢と悪夢の経営戦略」、川勝良昭、亜細亜大学購買部
- 「イノベーションへの解」、クレイトン・クリステンセン、翔泳社
- 「ライフサイクルイノベーション」、ジェフリー・ムーア、翔泳社
- 「クラウド時代のビジネスチャンス獲得」、前田卓也
- 「ユーザー企業へのP2M活用アプローチ」、佐藤義男